

三河高原領家深成・変成岩類の風化過程に関する岩石化学的研究

Petrochemical Study on Weathering of the Ryoke Plutonic and Metamorphic Rocks in the Mikawa Plateau

上野 振一郎 [1]

Shinichiro Ueno[1]

[1] 名大・環境学・都市環境

[1] Environmental studies, Nagoya Univ.

本研究では、三河高原の基盤を構成する領家深成岩・変成岩 16 箇所から様々な程度の風化を受けた岩石とそれを起源とする土壌を採取し、偏光顕微鏡観察および蛍光 X 線分析を行なった。

その結果、土壌は原岩の化学組成の影響を受けていることと、深成岩体においては岩石の風化程度を測る代表的な風化指標の適用が有効であることが確認された。さらにこの指標を用いた岩石と土壌の風化程度の変化率から判断すると、土壌が原岩から生成される過程で SiO₂ が少ない岩石の方が SiO₂ が多い岩石より風化が進んでいるといえる。